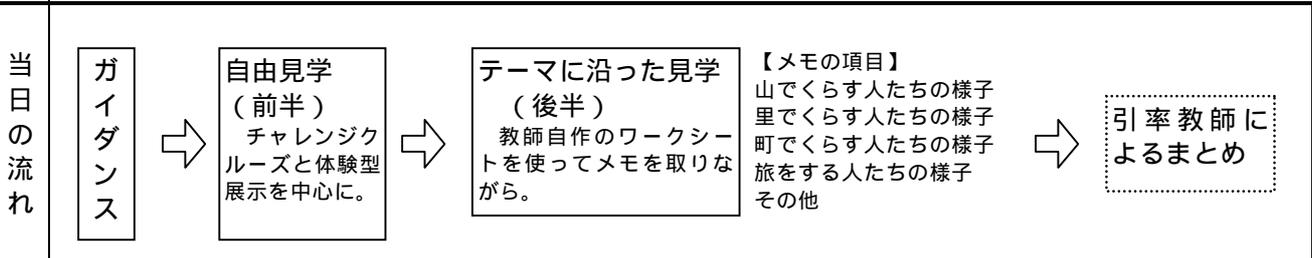


## 江戸時代の山梨の人々はしあわせだっただろうか？

市川南小学校の5・6年生は、「江戸時代の山梨の人々はしあわせだっただろうか？」というテーマに沿って見学した。見学テーマがないと散漫な見学になってしまうと考えたからだが、かといって、まだ日本の歴史について学習していない5年生にとっては歴史学習を前提としたテーマ設定は無理なので、このようなテーマにした。

**事前**  
6年生は教育課程にそった歴史学習の中で、江戸時代の学習をした。  
5年生は特に事前学習は行っていないが、時代劇など江戸時代を扱ったものを想起。  
見学前に、オリエンテーションを行った。見学時のテーマについての説明や見学方法について教師から説明した。



子どもたちのメモの一例	<p>【展示】「城下町の賑わい」の道祖神ジオラマ</p> <p>【子どものメモ】楽しい行事があったので、いろいろな人とふれあうことができた。</p> 	<p>【展示】「山に生きる」の奈良田の焼き畑ジオラマ</p> <p>【子どものメモ】苦勞して木や稲を植えているけれど、(作物などが)できれば、すごくうれしいから。</p> 
	<p>【展示】「里に暮らす」のノラ・ジオラマほか</p> <p>【子どものメモ】子どもは学校には行けなかったけど、毎日、家族と一緒にいられたと思うし、たこあげなどして、遊べたと思う。</p> 	<p>【展示】「里に暮らす」のムラ・ジオラマほか</p> <p>【子どものメモ】大人の人たちは毎日働いて大変だったと思うけど、家族や近所の人と楽しく働いて暮らしていたと思う。</p> 

**事後**  
調べたメモをもとに、しあわせだったか・しあわせでなかったかを決めて、その理由をワークシートに書かせた。全員ができたところで発表会を行い、意見を分かち合った。全員が「しあわせだった」という結論だった。

**一言**  
やはりテーマを決めたほうが漫然とした見学にならなくて、よかったと思う。  
途中から展示交流員さんが子どもたちのやっていることを理解して、「それだったら、こんな展示をみるといいよ」などと声をかけてくれるようになった。もっと子どもたちに展示交流員さんに声を掛けさせればよかったと反省している。また、見学計画を立てる際に、展示交流員さんにも協力してもらえばよかったと思う。  
(市川南小学校 渡辺一彦)